


大麦の生育は順調であり、生育の早いほ場での出穂期は4月17日頃と見込まれ、おおむね平年並みとなっています。

今年は、ほ場の排水の良否による生育差が大きくなっており、今後は水稻作付ほ場からの漏水に注意するとともに、ほ場内に水が停滞しないよう、排水溝の手直しを行い、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。

1. 排水溝の手直し

隣接する水稻のほ場に、間もなく入水が始まることから、畦畔などからの漏水がないか、必ず確認しましょう。

あわせて、排水溝や排水口に水が溜まらないよう、排水溝の手直しと排水口への連結を徹底しましょう。



排水口付近に水が溜まっていないか確認しましょう。

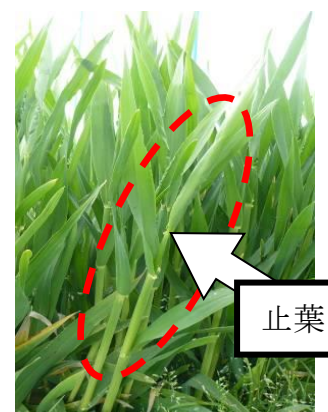
2. 止葉展開期の追肥

【基肥一発肥料の場合】

基肥一発肥料（Jコート大麦48号）を施用したほ場では、追肥を施用しないでください。

【分施体系の場合】

硝子粒発生防止のため、施用時期と施肥量に注意しましょう。



止葉展開期の目安

止葉が出葉した茎が、ほ場の40~50%となった時期

は種時期	施肥時期	肥料名	施肥量 (10a当たり)
9月~10月上旬	4月6日頃	硫安	10kg
10月中旬以降	4月13日頃		

赤かび病の防除については、次号の特報でお知らせします